

# 床下配線の場合

## 1. 一次配線とコントローラボックスの取り付け



コントローラ取り付け位置(床から1200mm程度)を決め、壁にJISスイッチボックス2個用(現場調達)を取り付け、一次側電源コードを引き込みます。

## 2. 下地の確認 (下地コンパネはビス止め)



下地は必ず乾燥材を使い、釘の頭や針金、段差や節等を平滑に処理します。その後、掃除機などでゴミ、木くず等を綺麗に掃除します。

## 3. 仕上材(フローリング)の墨出し



仕上材(フローリング)の貼り出し位置と仕上材の幅で割付の墨出しを行います。

## 4. 敷設位置決めと移動



敷設場所のPaseoシート枚数と長さ四辺の墨出しを行い、敷設位置にPaseoシートを置きます。その際、必ず2人でPaseoシートの両端を持って運びます。

## 5. Paseoシートの仮置き



Paseoシートの両端導体(銀色)部分と地墨が重ならないようにし根太組工法では、根太の真上にPaseoシートの白色部分(穴あき部分)の中心がくるように敷設し位置を確定させます。

## 6. Paseoシートの仮止め



Paseoシートのリード線のついていない側半分をタッカー(または養生テープ)で数ヶ所止めます。

# 床下配線の場合

## 7. 開口部分の位置決め



リード線(白・黒)と樹脂成型端子部分が床下に吸収するようにするため、下地コンパネに端子位置の印をつけます。

## 8. 開口作業の前に



開口作業ができるように、パセロシートを半分位めくり返します。

## 9. 開口作業



7.の印部分をドリルで50 (または30 2連)の穴をあけ、穴の内側を面取りします。

## 10. 掃除



9.の開口作業で出たゴミ、木くずなどを掃除機で吸い取ります。(パセロシート下面にエアを吹き付け、木くずなどを飛ばします。)

## 11. リード線(白黒)の床下投下



9.であけた穴にパセロシートのリード線(白・黒)を投下します。(開口部分に凸部があれば調整します。)

## 12. パセロシートの固定

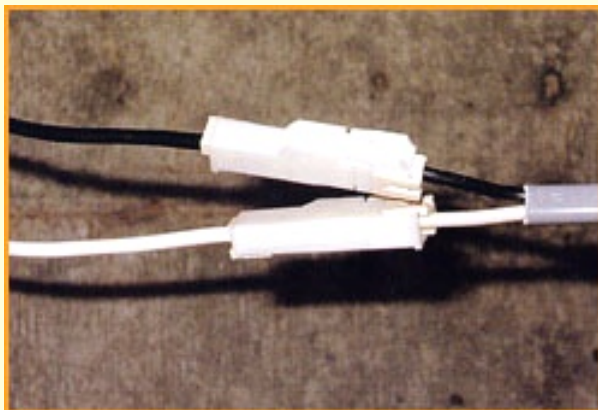


正確な位置にパセロシートを置き、タッカー(または養生テープ)で数ヶ所固定します。(白色部以外は打たないで下さい。)



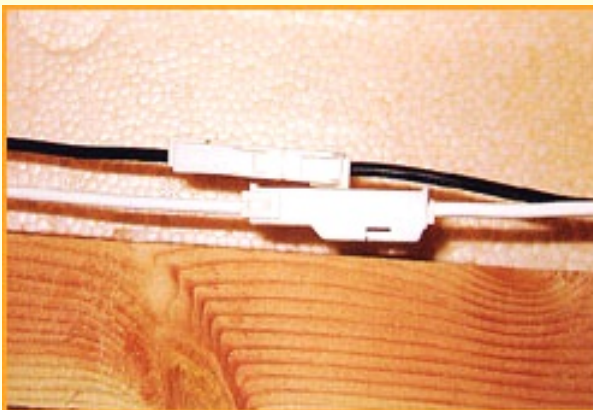
# 床下配線の場合

## 13. コントローラ側追線と1枚目との結線



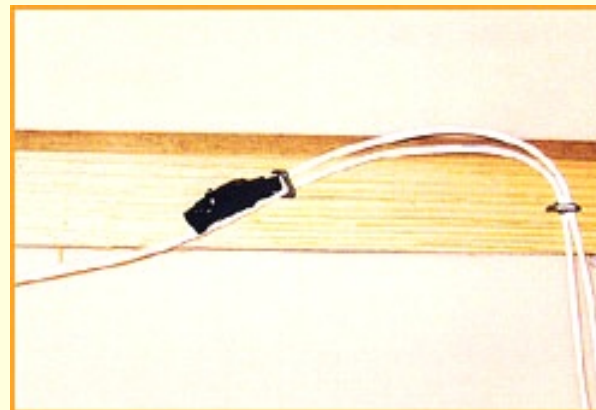
まず最初にコントローラ側追線(付属品)と、コントローラに一番近い1枚目のパセロシートの結線を同色どうし(白と白、黒と黒)で行います。

## 14. 2枚目以降との結線



1枚目のパセロシートの余った短いリード線と、2枚目の長いリード線を同色どうしで繋ぎます(以降同様)

## 15. 絶縁処理



最後のパセロシートの繋がれていないコネクタを絶縁テープで絶縁処理します。  
(最後のパセロシートのリード線は白・黒一本づつ余ります)

## 16. 垂木止め(床下配線の場合のみ)



床下配線の場合、垂れ下がったリード線とコントローラ側追線を垂木に止めてください。

**重要**

**電気試験パセロシート敷設後と仕上げ材敷設後に必ず行ってください。**



**絶縁抵抗計で漏電チェック**

50M 以上で合格としますが、コンパネが湿っている場合や雨天時には、50M 以下になる場合がありますので、湿気を考慮のうえ測定してください。



**テスターで合成抵抗値を確認**

合成抵抗値はPTC特性により、外気温度で左右されます。20環境で±20%程度が範囲内です。夏場はプラス、冬場はマイナスの値となりますので、外気温度を考慮の上測定してください。

合成抵抗値 = 電圧(100V/200V) ÷ シート合計アンペア数